

〔論 説〕

租税逋脱の倫理性に関する実証的研究

—日本における意見調査を中心に—

Robert W. McGee 魏 巍

〔要 旨〕

本稿は日本の大学に在学している学生を対象としたアンケート調査の結果をまとめたものである。本研究で使用したアンケートは、学生たちの18の項目に対する賛成あるいは反対の程度を調査したものであり、これまでに租税逋脱¹の倫理性を論証する多くの先行研究で利用されてきた。調査の結果、租税逋脱の倫理性に対して否定的な意見が強かったが、一部の項目に限り、租税逋脱を強く否定するものではなかった。租税逋脱が最も許容されたのは、税金の大部分が悪徳政治家またはその家族と友人たちのポケットに巻き上げられる場合、税制度が不公平である場合、税金の大部分が浪費されている場合、政府が政治的な主張を理由に人々を監禁する場合、そして、税率が高すぎる場合であった。今回の調査では性別および宗教による意見の違いについて有意な差が得られなかったが、一部の項目に限定して年齢による意見の違いについて有意な差が得られた。

1 はじめに

租税逋脱の倫理性に関してこれまでに多くの先行研究が行われた。しかし、その多くは経済または財政の視点によるものである。また、その多くは、租税逋脱の違法性を理由に、租税納付は倫理的であり、租税逋脱は非倫理的であると考ええる。日本においては、租税逋脱の倫理性に関する先行研究はほとんど行われていない。その理由は、おそらく日本では租税逋脱を非倫理的であると考えられていることにある²。すなわち、課税は民主主義の場合に常に正当であるという前提がそこにあると思われる。しかしながら、歴史と先行研究はこの前提を揺るがすことになった。租税逋脱はある特定の状況においては正当である可能性について激しい議論が行われてきた。

¹ 租税逋脱 (Tax Evasion) は「脱税」と呼ばれることもあるが、本稿は租税回避 (Tax Avoidance) と対照させる意味で「租税逋脱」と呼ぶことにする。また、アンケートの中では「脱税」を使用することとした。

² 日本では、租税回避の倫理性に関する研究は行われているが、租税逋脱に関する研究はほとんど行われていない。

McGee (2012) は、租税逋脱の倫理性に関して4つの考え方があると指摘する。1つ目の考え方は、租税逋脱は常に非倫理的である。2つ目の考え方は、租税逋脱は常に倫理的である。そして、3つ目の考え方は、租税逋脱はある状況においてのみ倫理的である。最後に、4つ目の考え方は、租税逋脱に対する肯定的義務がある。もし1つ目の考え方が正しいのであれば、ユダヤ人はナチ政府に対して、彼らを死の収容所に送るために使う電車のコストを負担する義務があると主張することができた (McGee, 2012)。勿論、そのようなことは非合理的である。しかしながら、そのような状況を想定することにより、ある状況に限って租税逋脱は倫理的である可能性を示している。

われわれは日本のビジネス系の学生たちの租税逋脱の倫理性に対する意見を明らかにするために、これまでに租税逋脱を正当化するために使用された18項目を含めたアンケートを日本語に翻訳し、調査を実施した。

2 調査方法

われわれは租税逋脱の倫理性に対する意見を調査するために、アンケートを経営学部 に在学している学生グループに配布した。このグループが選ばれた理由は、彼らは会計、ビジネス、経済、法律について勉強しており、将来は日本のビジネスに係わる人材になると予想できるからである。

このアンケートは1から7までの数字で答える方式を採用し、18の項目を含めている。回答者たちは各項目の内容に対して彼らの同意または反対の度合いを表すために、提供されたスペースに適切と思う数字を記入するように求められた。この18の項目は過去の500年間の間に租税逋脱を正当化するために使用された15の項目 (Crowe, 1944) に、人権の理由による3つの項目をプラスしたものである。

3 調査結果

アンケート調査の結果を以下のとおりまとめた。

3.1 回答者構成

表1は回答者の構成を示したものである。回答者の全員は大学に在学している学生であり、その約4分の1は女性である。また、ほぼ90%の回答者は主にビジネスと経済を専攻する学生

であり、わずか5.8%の回答者は主に会計を専攻する学生である。そして、半分以上の回答者は21歳未満の学生であり、約43%は21歳以上の学生である。さらに、仏教徒の回答者はサンプルの52%を占め、約43%の回答者の宗教は不特定である。われわれは性別、宗教および年齢による意見の違いを明かにするために、データを分析した。また、主要な専攻については、ビジネスと経済に集中していたため、分析するのに必要なサンプルは十分ではなかった。

表1 回答者の構成

	#	%		#	%
性別			専攻		
男性	107	69.5	会計	9	5.8
女性	38	24.7	ビジネス／経済	137	89.0
不明	9	5.8	その他／不明	8	5.2
合計	154	100.0	合計	154	100.0
宗教			年齢		
仏教	80	52.0	21歳未満	84	54.5
不特定	67	43.5	21歳以上	67	43.5
その他	7	4.5	不明	3	2.0
合計	154	100.0	合計	154	100.0

表2はアンケートの中で使用した18の項目の内容、各項目の平均値および総平均値を示している。全体の平均値は4.25であり（1～7の範囲）、これは租税逋脱に対して、いくらかの支持があったことを示している。

3.2 回答結果の順位

表3は租税逋脱を支持する最も強い項目から最も弱い項目へと並べたものである。具体には、最も強い項目の平均値は3.55であり、最も弱い項目の平均値は4.96であった。租税逋脱を最も支持したのは、徴税によって集められたお金のかなりの部分が悪徳政治家またはその家族と友人たちのポケットに巻き上げられる場合である。それにつづき、税制度が不公平である場合、徴税によって集められたお金の大部分が浪費されている場合、政府が人々の政治的意見を理由にその人々を監禁する場合、そして、税率が高すぎる場合である。この5つの項目の平均値のすべては4.0よりも低く、これらの状況においては租税逋脱を比較的支持する意見があったことを意味する。残りの13の項目は4.0から5.0までの平均値が付けられていた。一方、租税逋脱は最も支持を得られなかったのは、徴税によって集められたお金の大部分が賢く使われる場合である。それにつづき、脱税者の不支払によって、他の人たちはその分多く税金を支払わな

表2 回答結果の要約

項目番号	内容	平均値
1	税率が高すぎる場合、脱税は倫理的である。	3.98
2	政府にはそれが徴収する税金ほどの金額を取る権利がない場合、たとえ税率があまり高くないとしても、脱税は倫理的である。	4.10
3	税制度が不公平である場合、脱税は倫理的である。	3.56
4	徴税によって集められたお金の大部分が浪費されている場合、脱税は倫理的である。	3.62
5	たとえ徴税によって集められたお金の大部分が賢く使われるとしても、脱税は倫理的である。	4.96
6	徴税によって集められたお金の大部分が恐らく脱税者の賛成しないプロジェクトに使われる場合、その脱税は倫理的である。	4.22
7	たとえ徴税によって集められたお金の大部分が価値のある使われたとしても、脱税は倫理的である。	4.67
8	徴税によって集められたお金の大部分が脱税者に利益を与えないプロジェクトに使われる場合、脱税は倫理的である。	4.19
9	たとえ納税によって集められたお金の大部分が脱税者に利益を与えるプロジェクトに使われるとしても、その脱税は倫理的である。	4.89
10	すべての人が脱税をしている場合、脱税は倫理的である。	4.25
11	徴税によって集められたお金のかなりの部分が悪徳政治家またはその家族と友人たちのポケットに巻き上げられる場合、脱税は倫理的である。	3.55
12	脱税しても捕まる確率が低い場合、脱税は倫理的である。	4.78
13	税金の一部が脱税者の考える不正な戦争を支援するために使われる場合、脱税は倫理的である。	4.20
14	脱税者には税金を支払う余裕がない場合、その脱税は倫理的である。	4.00
15	たとえ脱税者の不支払によって、他の人たちはその分多く税金を支払わなければならないことを意味していても、脱税は倫理的である。	4.90
16	ナチのドイツに住むユダヤ人であった場合、その脱税は倫理的であろう。	4.46
17	政府が宗教、人種あるいは民族的な背景を理由に不利に脱税者を差別する場合、その脱税は倫理的である。	4.35
18	政府が人々の政治的な意見を理由にその人々を監禁する場合、その人たちの脱税は倫理的である。	3.89
総平均値		4.25

1 = 強い同意； 7 = 強い反対

表3 回答結果の順位

順位	内容	平均値
1	徴税によって集められたお金のかなりの部分が悪徳政治家またはその家族と友人たちのポケットに巻き上げられる場合、脱税は倫理的である。	3.55
2	税制度が不公平である場合、脱税は倫理的である。	3.56
3	徴税によって集められたお金の大部分が浪費されている場合、脱税は倫理的である。	3.62
4	政府が人々の政治的な意見を理由にその人々を監禁する場合、その人たちの脱税は倫理的である。	3.89
5	税率が高すぎる場合、脱税は倫理的である。	3.98
6	脱税者には税金を支払う余裕がない場合、その脱税は倫理的である。	4.00
7	政府にはそれが徴収する税金ほどの金額を取る権利がない場合、たとえ税率があまり高くないとしても、脱税は倫理的である。	4.10
8	徴税によって集められたお金の大部分が脱税者に利益を与えないプロジェクトに使われる場合、その脱税は倫理的である。	4.19
9	税金の一部が脱税者の考える不正な戦争を支援するために使われる場合、脱税は倫理的である。	4.20
10	徴税によって集められたお金の大部分が恐らく脱税者の賛成しないプロジェクトに使われる場合、その脱税は倫理的である。	4.22
11	すべての人が脱税をしている場合、脱税は倫理的である。	4.25
12	政府が宗教、人種あるいは民族的な背景を理由に不利に脱税者を差別する場合、その脱税は倫理的である。	4.35
13	ナチのドイツに住むユダヤ人であった場合、その脱税は倫理的であろう。	4.46
14	たとえ徴税によって集められたお金の大部分が価値のあるプロジェクトに使われたとしても、脱税は倫理的である。	4.67
15	脱税しても捕まる確率が低い場合、脱税は倫理的である。	4.78
16	たとえ納税によって集められたお金の大部分が脱税者に利益を与えるプロジェクトに使われるとしても、その脱税は倫理的である。	4.89
17	たとえ脱税者の不支払によって、他の人たちはその分多く税金を支払わなければならないことを意味していても、脱税は倫理的である。	4.90
18	たとえ徴税によって集められたお金の大部分が賢く使われるとしても、脱税は倫理的である。	4.96

1 = 強い同意； 7 = 強い反対

表4 スコアの範囲

項目 番号	内容	平均値	割合 (%)		
			1 - 2	3 - 5	6 - 7
1	税率が高すぎる場合、脱税は倫理的である。	3.98	22.1	56.5	21.4
2	政府にはそれが徴収する税金ほどの金額を取る権利がない場合、たとえ税率があまり高くないとしても、脱税は倫理的である。	4.10	18.2	59.1	22.7
3	税制度が不公平である場合、脱税は倫理的である。	3.56	31.8	50.6	17.5
4	徴税によって集められたお金の大部分が浪費されている場合、脱税は倫理的である。	3.62	33.1	50.0	16.9
5	たとえ徴税によって集められたお金の大部分が賢く使われるとしても、脱税は倫理的である。	4.96	9.7	41.6	48.7
6	徴税によって集められたお金の大部分が恐らく脱税者の賛成しないプロジェクトに使われる場合、その脱税は倫理的である。	4.22	17.5	55.8	26.6
7	たとえ徴税によって集められたお金の大部分が価値のあるプロジェクトに使われたとしても、脱税は倫理的である。	4.67	14.3	46.1	39.6
8	徴税によって集められたお金の大部分が脱税者に利益を与えないプロジェクトに使われる場合、その脱税は倫理的である。	4.19	17.8	57.9	24.3
9	たとえ納税によって集められたお金の大部分が脱税者に利益を与えるプロジェクトに使われるとしても、その脱税は倫理的である。	4.89	9.2	50.3	40.5
10	すべての人が脱税をしている場合、脱税は倫理的である。	4.25	20.9	48.4	30.7
11	徴税によって集められたお金のかなりの部分が悪徳政治家またはその家族と友人たちのポケットに巻き上げられる場合、脱税は倫理的である。	3.55	40.5	35.9	23.5
12	脱税しても捕まる確率が低い場合、脱税は倫理的である。	4.78	12.5	46.1	41.4
13	税金の一部が脱税者の考える不正な戦争を支援するために使われる場合、脱税は倫理的である。	4.20	22.2	47.7	30.1
14	脱税者には税金を支払う余裕がない場合、その脱税は倫理的である。	4.00	20.9	57.5	21.6
15	たとえ脱税者の不支払によって、他の人たちはその分多く税金を支払わなければならないことを意味していても、脱税は倫理的である。	4.90	9.8	48.4	41.8
16	ナチのドイツに住むユダヤ人であった場合、その脱税は倫理的であろう。	4.46	13.7	54.9	31.4
17	政府が宗教、人種あるいは民族的な背景を理由に不利に脱税者を差別する場合、その脱税は倫理的である。	4.35	16.3	52.9	30.7
18	政府が人々の政治的な意見を理由にその人々を監禁する場合、その人たちの脱税は倫理的である。	3.89	24.2	54.2	21.6

1 = 強い同意； 7 = 強い反対

ければならないことを意味する場合、そして、徴税によって集められたお金の大部分が脱税者に利益を与えるプロジェクトに使われる場合である。

われわれはナチのドイツに住むユダヤ人の場合の順位を注目した。その平均値は4.46であり、13位にランクしたⁱⁱⁱ。これは、政府が宗教、人種あるいは民族的な背景を理由に不利に脱税者を差別する場合、さらに、すべての人が脱税をしている場合よりも低い順位である。

3.3 スコアの範囲

表4は各項目の平均値を3つのカテゴリーに分けたものである。

- 1 - 2 租税逋脱に対して僅かな反対
- 3 - 5 租税逋脱に対して穏やかな反対
- 6 - 7 租税逋脱に対して強い反対

その結果、18項目のうち16項目については「租税逋脱に対して穏やかな反対」に当てはまるスコアの割合が大きいという結果となった。また、「租税逋脱に対して僅かな反対」のカテゴリーの中に最も高い割合を占めたのは、徴税によって集められたお金のかなりの部分が悪徳政治家またはその家族と友人たちのポケットに巻き上げられる場合である。ちなみに、同様なアンケートを哲学の専門家を対象に実施した別の調査では、18項目のうち15項目が「租税逋脱に対して強い反対」のカテゴリーに当てはまるスコアの割合が大きいという結果であった (McGee, 2012 c)。

4 性別による意見の違い

性別は社会学の論文の中でよく使われる変数であり、多くの先行研究は性別と倫理観の間にある関連性を調べた。一部の研究は、女性は男性より倫理性が高いと結論付けた (Mason and Mudrack, 1996; Singhapakdi, Vitell, and Franke, 1999; Beu, Buckley, and Harvey, 2003)。また、別の研究は、倫理に関する性別による統計的有意な差が認められなかったと結論づけた (Dubinsky and Levy, 1985; Babakus, Cornwell, Mitchell, and Schlegemilch, 2004; McCabe, Ingram, and Dato-on, 2006; Kidwell, Stevens and Bethke, 1987)。さらに、一部の研究は、男性は女性より倫理性が高いと結論づけた (Barnett and Karson, 1987; Weeks et al., 1999)。

ⁱⁱⁱ このアンケートを使った他の研究では、この項目は中国では第2位にランクし、アメリカでは第1位をランクした (McGee, Yoon, and Li, 2015)。

表5 男性と女性の平均値の比較

項目 番号	内容	平均値	性別の平均		比較	
			男性	女性	男性	女性
1	税率が高すぎる場合、脱税は倫理的である。	3.98	4.04	3.84	0.20	
2	政府にはそれが徴収する税金ほどの金額を取る権利がない場合、たとえ税率があまり高くないとしても、脱税は倫理的である。	4.10	4.09	4.13		0.04
3	税制度が不公平である場合、脱税は倫理的である。	3.56	3.51	3.68		0.17
4	徴税によって集められたお金の大部分が浪費されている場合、脱税は倫理的である。	3.62	3.57	3.74		0.17
5	たとえ徴税によって集められたお金の大部分が賢く使われるとしても、脱税は倫理的である。	4.96	5.10	4.68	0.42	
6	徴税によって集められたお金の大部分が恐らく脱税者の賛成しないプロジェクトに使われる場合、その脱税は倫理的である。	4.22	4.20	4.45		0.25
7	たとえ徴税によって集められたお金の大部分が価値のあるプロジェクトに使われたとしても、脱税は倫理的である。	4.67	4.70	4.82		0.12
8	徴税によって集められたお金の大部分が脱税者に利益を与えないプロジェクトに使われる場合、脱税は倫理的である。	4.19	4.31	3.89	0.42	
9	たとえ納税によって集められたお金の大部分が脱税者に利益を与えるプロジェクトに使われるとしても、その脱税は倫理的である。	4.89	4.97	4.66	0.31	
10	すべての人が脱税をしている場合、脱税は倫理的である。	4.25	4.33	3.97	0.36	
11	徴税によって集められたお金のかなりの部分が悪徳政治家またはその家族と友人たちのポケットに巻き上げられる場合、脱税は倫理的である。	3.55	3.41	3.84		0.43
12	脱税しても捕まる確率が低い場合、脱税は倫理的である。	4.78	4.85	4.68	0.17	
13	税金の一部が脱税者の考える不正な戦争を支援するために使われる場合、脱税は倫理的である。	4.20	4.18	4.21		0.03
14	脱税者には税金を支払う余裕がない場合、その脱税は倫理的である。	4.00	3.94	4.21		0.27
15	たとえ脱税者の不支払によって、他の人たちはその分多く税金を支払わなければならないことを意味していても、脱税は倫理的である。	4.90	5.08	4.58	0.50	
16	ナチのドイツに住むユダヤ人であった場合、その脱税は倫理的であろう。	4.46	4.38	4.66		0.28
17	政府が宗教、人種あるいは民族的な背景を理由に不利に脱税者を差別する場合、その脱税は倫理的である。	4.35	4.29	4.42		0.13
18	政府が人々の政治的な意見を理由にその人々を監禁する場合、その人たちの脱税は倫理的である。	3.89	3.71	4.24		0.53
総平均値		4.25	4.26	4.26		

1 = 強い同意； 7 = 強い反対

表5は性別による平均値を比較したものである。表5で示しているとおおり、18項目のうちの11項目において、女性は男性よりも高い平均値が付けられている。そして、18項目のうちの7項目において、男性は女性よりも高い平均値が付けられている。しかしながら、両者全体の総平均値はともに4.26であり、その差が見られなかった。

表6は性別による意見の違いを分析した統計データを示したものである。今回の調査では18項目のうち11項目において、女性は男性に比べて、より租税逋脱に反対する結果となった。しかし、それらは統計的に有意な結果ではなかった。

表6 統計データ (性別)

項目 番号	男性			女性			P 値
	サンプル数	平均値	SD	サンプル数	平均値	SD	
1	107	4.04	1.91	38	3.84	1.50	0.5721
2	107	4.09	1.82	38	4.13	1.34	0.9066
3	107	3.51	1.91	38	3.68	1.57	0.6244
4	107	3.57	1.79	38	3.74	1.62	0.6161
5	107	5.10	1.81	38	4.68	1.62	0.2146
6	107	4.20	1.89	38	4.45	1.25	0.4508
7	107	4.70	1.91	38	4.82	1.68	0.7450
8	105	4.31	1.89	38	3.89	1.41	0.2013
9	106	4.97	1.85	38	4.66	1.32	0.3289
10	106	4.33	2.05	38	3.97	1.83	0.3094
11	106	3.41	2.28	38	3.84	1.86	0.2921
12	107	4.85	1.96	38	4.68	1.73	0.6462
13	107	4.18	2.04	38	4.21	1.73	0.9496
14	107	3.94	1.82	38	4.21	1.52	0.4233
15	107	5.08	1.83	38	4.58	1.48	0.1301
16	107	4.38	1.86	38	4.66	1.40	0.4114
17	107	4.29	1.94	38	4.42	1.66	0.7130
18	107	3.71	1.84	38	4.24	1.72	0.1282
総平均値		4.26			4.26		

5 宗教による意見の違い

表7は宗教による意見の違いを分析した統計データを示したものである。18項目のうち、12の項目においては、仏教徒の回答者は宗教を特定しない回答者よりも高い平均値が付けられている。そして、18項目のうち、6の項目においては、宗教を特定しない回答者は仏教徒の回答

者よりも高い平均値が付けられている。このうち、12番目の項目のP値は1%水準(0.0061)で有意であった。この1項目に限って、仏教徒の回答者は宗教を特定しない回答者より有意に倫理性が高い結果となった。

表7 統計データ(宗教)

項目 番号	仏教			不特定			P 値
	サンプル数	平均値	SD	サンプル数	平均値	SD	
1	80	4.19	1.75	67	3.75	1.89	0.1473
2	80	4.09	1.66	67	4.15	1.75	0.8279
3	80	3.68	1.81	67	3.45	1.84	0.4557
4	80	3.69	1.66	67	3.64	1.80	0.8738
5	80	5.04	1.77	67	4.81	1.78	0.4354
6	80	4.06	1.78	67	4.34	1.72	0.3373
7	80	4.90	1.81	67	4.49	1.90	0.1899
8	80	4.25	1.72	65	4.06	1.85	0.5185
9	80	5.06	1.56	66	4.73	1.91	0.2385
10	80	4.49	1.77	66	4.08	2.14	0.2033
11	80	3.61	2.19	66	3.50	2.14	0.7556
12	80	5.18	1.63	65	4.32	2.12	0.0061**
13	80	4.28	1.95	66	4.12	2.07	0.6436
14	80	3.93	1.57	66	3.98	1.96	0.8369
15	80	5.09	1.70	66	4.70	1.88	0.1843
16	80	4.46	1.84	66	4.56	1.61	0.7315
17	80	4.29	1.79	66	4.44	2.02	0.6284
18	80	3.86	1.73	66	3.94	2.00	0.8027
総平均値		4.34			4.17		

6 年齢による意見の違い

一部の先行研究は、年齢を重ねるにつれて人間の倫理性が高くなることを発見した。例えば、Ruegger and King (1992) は、ビジネス専攻の学生たちを対象にアンケート調査を行い、年齢を重ねるにつれて倫理性が高くなることを明らかにした。また、Gupta and McGee (2010) は、オーストラリア、ニュージーランドおよびアメリカでアンケート調査を実施し、年齢の高い人はより租税逋脱に反対することを明かにした。

表8は年齢による意見の違いを分析した統計データを示したものである。そこにおいては、サンプル数、平均値、各項目の標準偏差を示している。また、2つのサンプルを比較したP

値もそこに示されている。表8から分かるように、18項目のうち、5項目のP値は統計的に有意である。そのうち、4つの項目においては21歳未満の学生たちは有意により租税逋脱をより反対し、1つの項目においてはその逆である。21歳未満の学生が有意により租税逋脱を反対する4つの項目の内容を一覧表にしたのは表9である。

表8 統計データ (年齢)

項目 番号	21歳未満			21歳以上			P 値
	サンプル数	平均値	SD	サンプル数	平均値	SD	
1	84	4.54	1.69	67	3.28	1.78	<0.0001****
2	84	4.42	1.58	67	3.70	1.75	0.0086**
3	84	3.98	1.81	67	3.06	1.71	0.0020**
4	84	3.86	1.59	67	3.33	1.83	0.0614
5	84	5.07	1.74	67	4.82	1.81	0.3932
6	84	4.39	1.70	67	3.99	1.82	0.1609
7	84	4.98	1.85	67	4.28	1.83	0.0236*
8	82	4.18	1.88	67	4.16	1.64	0.9477
9	83	4.93	1.71	67	4.85	1.72	0.7813
10	83	4.22	1.97	67	4.24	2.00	0.9461
11	83	3.70	2.28	67	3.31	2.02	0.2810
12	84	4.88	1.89	66	4.65	1.97	0.4663
13	84	4.05	2.04	67	4.39	1.81	0.2895
14	84	4.06	1.68	67	3.91	1.82	0.6045
15	84	5.06	1.76	67	4.72	1.73	0.2363
16	84	4.60	1.76	67	4.30	1.66	0.2958
17	84	4.40	1.89	67	4.27	1.87	0.6612
18	84	3.61	1.76	67	4.21	1.87	0.0456*
総平均値		4.38			4.08		

表9 21歳未満の学生たちが有意により租税逋脱を反対する項目

項目番号	内容
1	税率が高すぎる場合
2	たとえ税率があまり高くないとしても政府にはそれが徴収する税金ほどの金額を取る権利がない場合
3	税制度が不公平である場合
7	徴税によって集められたお金の大部分が価値のあるプロジェクトに使われた場合

7 おわりに

本稿は日本で行った18項目のアンケート調査の結果をまとめたものである。今回のアンケート調査の回答者のほとんどは主にビジネスと経済を専攻する学生であったため、専攻による意見の違いを分析するための十分なサンプル数を得ることができなかった。

調査の結果、租税逋脱は最も支持を得たのは、徴税によって集められたお金のかなりの部分が悪徳政治家またはその家族と友人たちのポケットに巻き上げられる場合、税制度が不公平である場合、および税金の大部分が浪費されている場合であった。また、ナチのドイツに住むユダヤ人の場合は13位にランクし、同様な調査研究の結果に比べて、非常に低い順位であることが明らかになった。その理由として考えられるのは、ヨーロッパおよび北米においては第2次世界大戦中のユダヤ人により同情的であることがある。そして、18項目の平均値は、「租税逋脱に対して穏やかな反対」のカテゴリーに入るものが最も多かった。さらに、われわれは回答者の性別、宗教および年齢による意見の違いを明らかにするためにデータを分析した。その結果、性別による意見の違いについて、有意な差が見られなかった。また、宗教による意見の違いについて、18項目のうち1項目においては、仏教徒の回答者が宗教を特定しない回答者より倫理性が高いという有意な差が認められた。さらに、年齢による意見の違いについて、18項目のうち、4項目においては21歳未満の回答者が21歳以上の回答者より倫理性が高く、そして、1つの項目においてはその逆であった。この結果は年齢を重ねるにつれて人間の倫理性が高くなるという先行研究の結果と一致しなかった。しかしながら、今回の調査は大学に在学している学生たちを対象としたが、調査対象を変更することで異なる結果につながる可能性は十分にあるといえる。

参 考 文 献

- Babakus, Emin., T. Bettina Cornwell, Vince Mitchell, and Bodo Schlegelmilch (2004). Reactions to Unethical Consumer Behavior across Six Countries. *The Journal of Consumer Marketing*, 21(4/5), 254-263.
- Barnett, John H. and Marvin J. Karson. (1987). Personal Values and Business Decisions: An Exploratory Investigation. *Journal of Business Ethics*, 6(5), 371-382.
- Beu, Danielle S., M. Ronald Buckley and Michael G. Harvey. (2003). Ethical Decision-Making: A Multidimensional Construct. *Business Ethics: A European Review*, 12(1), 88-107.
- Crowe, Martin T. (1944). The Moral Obligation of Paying Just Taxes, *The Catholic University of America Studies in Sacred Theology* No.84.
- Dubinsky, Alan J. and Michael Levy. (1985). Ethics in Retailing: Perceptions of Retail Sales People. *Journal of the Academy of Marketing Science*, 13(1), 1-16.
- Gupta, Ranjana. and Robert W. McGee. (2010). A Comparative Study of New Zealander's Opinion on the Ethics

- of Tax Evasion: Students v. Accountants. *New Zealand Journal of Taxation Law and Policy*, 16(1), 47-84.
- Mason, E. Sharon. and Peter E. Mudrack. (1996). Gender and Ethical Orientation: A Test of Gender and Occupational Socialization Theories. *Journal of Business Ethics*, 15(6), 599-604.
- McCabe, A. Catherine., Rhea Ingram, and Mary Conway Dato-on. (2006). The Business of Ethics and Gender. *Journal of Business Ethics*, 64, 101-116.
- McGee, Robert W. (ed.) (2012a). *The Ethics of Tax Evasion: Perspectives in Theory and Practice*, New York: Springer.
- McGee, Robert W. (2012b). Four Views on the Ethics of Tax Evasion, *The Ethics of Tax Evasion: Perspectives in Theory and Practice*, New York: Springer, 3-33.
- McGee, Robert W. (2012c). Attitudes on the Ethics of Tax Evasion: A Survey of Philosophy Professors, *The Ethics of Tax Evasion: Perspectives in Theory and Practice*, New York: Springer, 125-132.
- McGee, Robert W., Yoon, Yeomin, and Li, Ye. (2015). The Ethics of Tax Evasion: A Comparative Study of Chinese and U.S. Opinion, *Indonesian Journal of International & Comparative Law*, 2(1), 161-186.
- Kidwell, Jeanee M., Robert E. Stevens, and Art L. Bethke. (1987). Differences in Ethical Perceptions Between Male and Female Managers: Myth or Reality? *Journal of Business Ethics*, 6(6), 489-493.
- Ruegger, Durwood. and Ernest W. King. (1992). A Study of the Effect of Age and Gender upon Student Business Ethics. *Journal of Business Ethics*, 11(3), 179-186.
- Singappakdi, Anusorn., Scott J. Vitell, and George R. Franke. (1999). Antecedents, Consequences and Mediating Effects of Perceived Moral Intensity and Personal Moral Philosophies, *Journal of the Academy of Marketing Science*, 27(1), 19-36.
- 菅原計 (2007) 「租税回避否認の論理と合法性原則」, 『経営論集』(第70号) 東洋大学経済学部, 12-27頁。
- Weeks, William A., Carlos W. Moore, Joseph A. McKinney, and Justin G. Longenecker. (1999). The Effects of Gender and Career Stage on Ethical Judgment. *Journal of Business Ethics*, 20(4), 301-313.

日本語に翻訳された英文のアンケート用紙

THE ETHICS OF TAX EVASION

Instructions: Tax evasion is defined as the illegal nonpayment of a tax. Tax avoidance, on the other hand, occurs when someone finds a way to legally minimize or reduce taxes. Please answer the following questions dealing with the ethics of tax evasion. This survey is voluntary.

Please insert the appropriate number in the space provided for the following statements.

1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____ 6 _____ 7 _____
Strongly Agree Strongly Disagree

1. ____ Tax evasion is ethical if tax rates are too high.
2. ____ Tax evasion is ethical even if tax rates are not too high because the government is not entitled to take as much as it is taking from me.
3. ____ Tax evasion is ethical if the tax system is unfair.
4. ____ Tax evasion is ethical if a large portion of the money collected is wasted.
5. ____ Tax evasion is ethical even if most of the money collected is spent wisely.
6. ____ Tax evasion is ethical if a large portion of the money collected is spent on projects that I morally disapprove of.
7. ____ Tax evasion is ethical even if a large portion of the money collected is spent on worthy projects.
8. ____ Tax evasion is ethical if a large portion of the money collected is spent on projects that do not benefit me.

9. ___ Tax evasion is ethical even if a large portion of the money collected is spent on projects that do benefit me.

10. ___ Tax evasion is ethical if everyone is doing it.

11. ___ Tax evasion is ethical if a significant portion of the money collected winds up in the pockets of corrupt politicians or their families and friends.

12. ___ Tax evasion is ethical if the probability of getting caught is low.

13. ___ Tax evasion is ethical if some of the proceeds go to support a war that I consider to be unjust.

14. ___ Tax evasion is ethical if I can't afford to pay.

15. ___ Tax evasion is ethical even if it means that if I pay less, others will have to pay more.

16. ___ Tax evasion would be ethical if I were a Jew living in Nazi Germany.

17. ___ Tax evasion is ethical if the government discriminates against me because of my religion, race or ethnic background.

18. ___ Tax evasion is ethical if the government imprisons people for their political opinions.

I am a(n): ___graduate student ___undergraduate student

___faculty member ___other_____

My main area of study is ___accounting ___business/economics

___theology/religious studies ___philosophy ___law

___other (specify)_____

I am ___male ___female I am _____ years old

My religious affiliation is:

___Shinto ___Buddhism ___Both Shinto and Buddhism

___Other

(Optional Comments) What are your views on the ethics of tax evasion? What determines whether tax evasion is ethical or unethical? You may use the back of this questionnaire if you need more space.